

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	京都西山短期大学
設置者名	学校法人京都西山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令で 定める 基準単 位数	配置 困難
			全学 共通科 目	学部 等共 通科 目	専 門科 目	合 計		
—	仏教学科仏教 学専攻仏教コ ース	夜・ 通信	0	2	20	22	7	
	仏教学科仏教 学専攻みらい 創造コース	夜・ 通信	0	0	9	9	7	
	仏教学科仏教 保育専攻保育 幼児教育コ ース	夜・ 通信	0	0	27	27	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都西山短期大学
設置者名	学校法人京都西山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	宗教法人西山浄土宗宗務総長	令和2年10月1日～令和6年9月30日	総務
非常勤	宗教法人浄福寺住職	令和3年4月1日～令和7年3月31日	学務
非常勤	学校法人大和学園 名誉学園長	平成30年5月1日～令和4年7月31日	財務
非常勤	宗教法人阿弥陀寺住職	平成30年5月28日～令和4年5月27日	総務
非常勤	時事経済研究所所長	令和1年6月1日～令和5年5月31日	財務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都西山短期大学
設置者名	学校法人京都西山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>12月中旬、教員に授業科目毎のシラバスの作成を依頼する。 1月中旬を入稿期限とする。 入稿期限締切り後、教学課事務職員による校正を行い、3月下旬に短期大学ホームページの Web シラバスに公開する。</p> <p>シラバス作成依頼書には、Web 入稿用ページの URL と、教員毎の個人ログイン ID・パスワード、入稿手順を記載している。 また、シラバス各項目（成績評価基準、教科書、参考文献、授業方法、授業概要、授業計画、備考・注意事項）の文字数上限や注意点を記載し、漏れの無いよう徹底している。 Web 入稿が難しい教員には、手書きの様式を配付し、教学課事務職員によって Web 入力を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://kyotoseizan-syllabus.cloud-syllabus.com/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価は、各科目に定められている単位数に相当する学修成果の有無やその内容を評価するために行われる。100点満点法で評価され、60点以上の評価が得られた場合にのみ所定の単位が認定される。

(ア) 成績評価の方法

成績評価は、次の4種類の方法を基本として、これらの中、1つまたは2つ以上を合わせた評価がなされる。基本的に各科目の成績評価の方法は、その科目の授業担当者に委ねられている。なお、評価方法等、具体的内容についてはシラバスに明示されている。1. 筆記試験による評価 2. レポート試験による評価 3. 実技試験による評価 4. 授業での取組状況や平常テストなど上記試験による評価とは別に、授業担当者が独自に設定する方法による評価

(イ) 成績評価の基準

成績評価は、100点を満点とし60点以上を合格、それに満たない場合は不合格とする。一度合格点を得た科目(=既得科目)を再度履修し改めて成績評価を受けることはできない。履修登録した科目の試験を受験しなかった場合、その試験の評価はH表記となる。ただし、このような場合でも、授業担当者が定めた評価方法により試験の評価以外により評価される場合がある。段階評価と評点の関係は、次のとおりとする。

秀(100~90)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)

学業成績証明書は、すべて段階評価で表示し、不合格科目は表示しない。学業成績表は、春学期(前期)分を8月下旬、秋学期(後期)分を2月下旬に配付する。

授業出席を重要としており、教員には規程の授業回数(15回)を必ず実施して頂くよう徹底している。

修学規程上、定期試験の受験資格を得るには、授業回数の3分の2以上の出席を必要としている。

各教員には、シラバスに成績を評価するための手段(定期試験、レポート、課題等の区別)とその割合を%で表示し、成績評価の配分の合計が100%となるよう明記して頂いている。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) この規程は、京都西山短期大学学則第 28 条及び修学規程第 10 条に基づき、GPA(グレードポイントアベレージ)について、必要な事項を定め、について必要な事項を定め、学生の学習意欲を高めるとともに、厳格な成績評価と学生支援に資することを目的とする。</p> <p>(対象授業科目) GPA 算出の対象となる授業科目は、5 段階の成績評価によって成績を受けた卒業要件に参入される全ての科目とする。 2 次の各号に掲げる科目は、GPA の算定に含めないものとする。 (1)点数によらず合格・不合格だけを判定する科目 (2)未入力または保留の授業科目 (3)本学入学前に修得した単位認定科目 (4)他大学等との単位互換等で修得した科目 (5)資格等の試験合格による単位認定科目 (配点) 評価された成績の段階ごとに、次に掲げる GP を配点する。 (1)秀(90~100)GP=4(2)優(80~89)GP=3 (3)良(70~79)GP=2(4)可(60~69)GP=1 (5)不可(0~59)GP=0 (GPA の種類及び計算方法) GPA 算定対象科目について、学期ごとの GPA(以下「学期 GPA」)と入学時から当該期までの GPA(以下「通算 GPA」)に区分して、各区分の定める方法により計算するものとし、計算値は小数点第 3 位を四捨五入する。 (1)学期 GPA 学期 GPA=(当該学期の履修登録科目の GP×当該科目の単位数)の総和÷当該学期の履修総単位数 (2)通算 GPA 通算 GPA=(在学全期間の履修登録科目の GP×当該科目の単位数)の総和÷在学全期間の履修総単位数 (履修取り消しの取扱い) 定められた期限までに履修を取り消す手続を行ったものは、履修取消とし、GPA には算入しない。ただし、履修の取り消しをせずに放棄した科目の GP は 0 とし、GPA に算入する。 (再履修等における GPA の取扱い) 不合格科目を再履修し、合格の評価を得た場合や再履修の結果再び不合格の評価である場合の、それぞれの再履修前の不合格評価については、通算 GPA には算入しない。ただし、学期 GPA にはそれぞれ算入するものとする。 (学修指導計画) 学科の各専攻は、GPA に基づいて学生の学修指導を行うものとする。 (GPA の通知及び記載) GPA の学生及び保護者への通知は、学期 GPA 及び通算 GPA を記載した成績通知書により行う。 学期 GPA 及び通算 GPA は、成績原簿に記載する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/wp_new/wp-content/uploads/2021/05/GPA.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業に係る単位の修得については、学生便覧に卒業の要件を掲載している。卒業の認定に関する方針として、本学はディプロマ・ポリシーを次のとおりとする。

学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー : DP)

本学は、仏教の教えをもとにした情操教育による「人間」の心の育成を建学の理念とし、教育の基本としている。本学の学位授与に関する方針は、次の通りである。

DP1 共感を通じて得られるよろこびや安らぎによって、他者を思いやることのできる心を育み、人々のために自分の持てる力を発揮することができる。

DP2 社会人に求められる幅広い教養と専門分野において必要な専門知識を身につけている。

DP3 実社会で起こる様々な問題の解決策を考え、表現し、実践することができる。

DP4 円滑なコミュニケーションを実践し、地域や社会の一員として協働することができる。

◆仏教学専攻

【仏教コース】

仏教コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、豊かな人間性を有している。

DP2 浄土宗西山派の僧侶としての専門的知識・技能を理解し、活用することができる。

DP3 実社会で起こる様々な問題の解決策を考え、表現し、実践することができる。

DP4 コミュニケーション能力を活かし、地域や社会の一員として協働することができる。

【みらい創造コース】

みらい創造コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、豊かな人間性を有している。

DP2 情報処理分野を主とした専門的知識や技能、また社会で必要とされる基本的な実務やマナーを理解し、活用することができる。

DP3 実社会で起こる様々な問題について、持続可能な発展や維持に貢献できるような解決策を、主体的に考え、行動することができる。

DP4 さまざまな人々を尊重しながら、コミュニケーションを図り、協働することができる。

【国際経営コース】

国際経営コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、豊かな人間性を有している。

DP2 ビジネス分野における専門的知識・技能を理解し、活用することができる。

DP3 実社会で起こる様々な問題の解決策をグローバルな視点から考え、表現し、実践することができる。

DP4 コミュニケーション能力を活かし、国際社会や地域の一員として協働することができる。

◆仏教保育専攻

【保育幼児教育コース】

保育幼児教育コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 (思考・判断) 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、ひとりひとりの子どもに寄り添う保育に必要な思考力と判断力とを身につけている。

DP2 (知識・技能) 保育者として必要な汎用的な知識や、技能を取得している。

DP3 (人間性) 実社会で起こる様々な問題について、持続可能な発展、維持貢献できるような解決策を主体的に考え、行動することができる。

DP4 (意欲・表現) 子どもや保護者等、さまざまな人々を尊重しながらコミュニケーションを図りつつ、具体的な保育を計画し、創造することができる。

卒業要件として、学生は2年以上の在学と62単位以上の修得を必要としている。

卒業要件を満たした者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

京都西山短期大学 HP
<https://seizan.ac.jp/outline/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	京都西山短期大学
設置者名	学校法人京都西山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/
収支計算書又は損益計算書	京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/
財産目録	京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/
事業報告書	京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/
監事による監査報告(書)	京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/information/study-support/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 仏教学科
教育研究上の目的（公表方法：京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/policy/ ）
<p>（概要）学科（専攻課程）の教育研究上の目的は次のとおりとする。</p> <p>仏教学科</p> <p>仏教学専攻 建学の精神に基づき、慈悲の心と智慧の習得をめざし、暖かい大きな心を育み、諸資格取得により、社会に有為な資質の育成をはかり、広く国際社会に貢献できる人材の養成を目的とする。</p> <p>仏教保育専攻 建学の精神に基づき、慈悲の心と智慧の習得をめざし、いのちを尊重する保育の理解と技術を身につけ、実習を通じて実践力を養うことにより、社会に貢献できる幼稚園教諭及び保育士の養成を目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/outline/policy/ ）
<p>（概要）学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）</p> <p>本学は、仏教の教えをもとにした情操教育による「人間」の心の育成を建学の理念とし、教育の基本としている。本学の学位授与に関する方針は、次の通りである。</p> <p>DP1 共感を通じて得られるよろこびや安らぎによって、他者を思いやることのできる心を育み、人々のために自分の持てる力を発揮することができる。</p> <p>DP2 社会人に求められる幅広い教養と専門分野において必要な専門知識を身につけている。</p> <p>DP3 実社会で起こる様々な問題の解決策を考え、表現し、実践することができる。</p> <p>DP4 円滑なコミュニケーションを実践し、地域や社会の一員として協働することができる。</p> <p>◆仏教学専攻 【仏教コース】</p> <p>仏教コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。</p> <p>DP1 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、豊かな人間性を有している。</p> <p>DP2 浄土宗西山派の僧侶としての専門的知識・技能を理解し、活用することができる。</p> <p>DP3 実社会で起こる様々な問題の解決策を考え、表現し、実践することができる。</p>

DP4 コミュニケーション能力を活かし、地域や社会の一員として協働することができる。

【みらい創造コース】

みらい創造コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、豊かな人間性を有している。

DP2 情報処理分野を主とした専門的知識や技能、また社会で必要とされる基本的な実務やマナーを理解し、活用することができる。

DP3 実社会で起こる様々な問題について、持続可能な発展や維持に貢献できるような解決策を、主体的に考え、行動することができる。

DP4 さまざまな人々を尊重しながら、コミュニケーションを図り、協働することができる。

【国際経営コース】

国際経営コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、豊かな人間性を有している。

DP2 ビジネス分野における専門的知識・技能を理解し、活用することができる。

DP3 実社会で起こる様々な問題の解決策をグローバルな視点から考え、表現し、実践することができる。

DP4 コミュニケーション能力を活かし、国際社会や地域の一員として協働することができる。

◆仏教保育専攻

【保育幼児教育コース】

保育幼児教育コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 (思考・判断) 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、ひとりひとりの子どもに寄り添う保育に必要な思考力と判断力とを身につけている。

DP2 (知識・技能) 保育者として必要な汎用的な知識や、技能を取得している。

DP3 (人間性) 実社会で起こる様々な問題について、持続可能な発展、維持貢献できるような解決策を主体的に考え、行動することができる。

DP4 (意欲・表現) 子どもや保護者等、さまざまな人々を尊重しながらコミュニケーションを図りつつ、具体的な保育を計画し、創造することができる。

きる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：京都西山短期大学 HP
京都西山短期大学 HP <https://seizan.ac.jp/outline/policy/>）

（概要）本学では、ディプロマ・ポリシーに定められた 4 つの能力を身につけるために、「基礎教育科目」、「専門基礎科目」、「専門教育科目」を体系的に編成する。授業科目は、講義、実習、演習を適切に組み合わせて開講する。

CP1 建学の理念である温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮するため「仏教学概論Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。

CP2「基礎教育科目」では、社会で必要とされる基本的な知識や能力および教養の習得を目的とする。

CP3「専門基礎科目」では、専攻するコースで必要とされる基本的な知識や能力および教養の習得だけでなく、必修科目を通して社会人基礎力の充実を図る。

CP4「専門教育科目」では、専攻するコースでの専門的な知識や能力の習得を目的とする。

◆仏教学専攻

【仏教コース】

本コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる 4 つの能力を身につけるために、「基礎教育科目」、「専門基礎科目」、「専門教育科目」を体系的に編成する。授業科目は、講義、実習、演習を適切に組み合わせて開講する。

CP1 建学の理念である温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮するため「仏教学概論Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。

CP2「基礎教育科目」では、教養と基礎学力の習得を目的とする。

CP3「専門基礎科目」では、必修科目「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「総合ゼミナールⅠ・Ⅱ」を通して社会人基礎力の充実を図る。

CP4「専門教育科目」では、浄土宗西山派の僧侶としての専門的知識や技能を習得し、それらを活用できることを目的とする。

【みらい創造コース】

本コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる 4 つの能力を身につけるために、「基礎教育科目」、「専門基礎科目」、「専門教育科目」を体系的に編成する。授業科目は、講義、実習、演習を適切に組み合わせて開講する。

CP1 建学の理念である温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮するため「仏教学概論Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。

CP2「基礎教育科目」では、情報処理、ビジネス実務、英会話、福祉に関する理解を中心とする教養と基礎学力の習得を目的とする。

CP3「専門基礎科目」では、必修科目「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「総合ゼミナールⅠ・Ⅱ」を通して社会人基礎力の充実を図る。

CP4「専門教育科目」では、情報処理やビジネス分野における専門的知識や

技能を習得し、それらを活用できることを目的とする。

【国際経営コース】

本コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる 4 つの能力を身につけるために、「基礎教育科目」、「専門基礎科目」、「専門教育科目」を体系的に編成する。授業科目は、講義、実習、演習を適切に組み合わせて開講する。CP1 建学の理念である温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮するため「仏教学概論Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。

CP2「基礎教育科目」では、世界の文化の理解および教養と基礎学力の習得を目的とする。

CP3「専門基礎科目」では、必修科目「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「総合ゼミナールⅠ・Ⅱ」を通して社会人基礎力の充実を図る。

CP4「専門教育科目」では、ビジネス分野における専門的知識や技能を習得し、それらを活用できることを目的とする。

◆仏教保育専攻

【保育幼児教育コース】

本コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる 4 つの能力を身につけるために、「基礎教育科目」、「専門基礎科目」、「専門教育科目」を体系的に編成し、講義、実習、演習を適切に組み合わせて開講する。

CP1 建学の理念である温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮するため「仏教学概論Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。

CP2「基礎教育科目」では、英会話や情報処理など、教養や基礎学力の習得を目的とする。

CP3「専門基礎科目」では、必修科目を通して社会人基礎力の充実を図る。

CP4「専門教育科目」では、保育者における専門的知識や技能を習得し、それらを活用できることを目的とする。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：京都西山短期大学 HP
<https://seizan.ac.jp/outline/policy/>）

（概要）本学のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求める。

AP1 建学の理念を理解し、他者を思いやることのできる心を育み、人々のために自分の持てる力を発揮することを目指し、成長する意欲がある。

AP2 高等学校等での教育課程を幅広く修得している。

AP3 本学での学びを通じて、専門的な知識や能力、幅広い教養を積極的に身につけ、卒業後には地域や社会で活躍したいと考えている。

◆仏教学専攻

【仏教コース】

ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、

次に掲げる知識、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求める。

AP1 建学の理念を理解し、温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮することを旨し、成長する意欲がある。

AP2 高等学校等での教育課程を幅広く修得している。

AP3 地域や社会の動向に関心を持ち、知識や情報をもとに自ら考えることができる。

AP4 仏教をひろく学ぼうとする心構えを持っている。

AP5 浄土宗西山派の僧侶として必要な知識や能力、幅広い教養を身につけたいと考えている

【みらい創造コース】

本学のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、

次に掲げる知識、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求める。

AP1 建学の理念を理解し、温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮することを旨し、成長する意欲がある。

AP2 高等学校等での教育課程を修得している。

AP3 社会で必要となる実務、マナー等についての能力を高めたいと考えている。

AP4 地域や社会の動向に関心を持ち、主体性を養いつつ、貢献したいと考えている。

AP5 一定のコミュニケーション能力を兼ね備えており、更にそれを高めつつ、社会の一員として協働したいと考えている。

【国際経営コース】

ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求める。

AP1 建学の理念を理解し、温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮することを旨し、成長する意欲がある。

AP2 高等学校等での教育課程を幅広く修得している。

AP3 国際社会や地域の動向に関心を持ち、知識や情報をもとに自ら考えることができる。

AP4 専門的な知識や能力、幅広い教養を積極的に身につけ、卒業後には国際社会や地域に貢献したいと考えている。

◆仏教保育専攻

【保育幼児教育コース】

ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求める。

AP1 建学の理念を理解し、温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮することを旨し、成長する意欲がある。

AP2 保育者としての能力を高めたいと考えている。
AP3 高等学校での教育課程を幅広く修得している。
AP4 地域や社会の動向に関心を持ち、知識や情報をもとに自ら考えることができる。
AP5 一定のコミュニケーション能力を兼ね備えている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：京都西山短期大学 HP
<https://seizan.ac.jp/outline/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
仏教学科	—	4人	5人	3人	0人	0人	12人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		40人					40人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：京都西山短期大学 HP https://seizan.ac.jp/course/teachers/					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
仏教学科	100人	40人	40%	200人	114人	57%	0人	0人
合計	100人	40人	40%	200人	114人	57%	0人	0人
(備考)								

b.卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
仏教学科	56人 (100%)	19人 (34%)	17人 (30%)	20人 (36%)
合計	56人 (100%)	19人 (34%)	17人 (30%)	20人 (36%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>12月中旬、教員に授業科目毎のシラバスの作成を依頼する。 1月中旬を入稿期限とする。 入稿期限締切り後、教学課事務職員による校正を行い、3月下旬に短期大学ホームページのWebシラバスに公開する。 シラバス作成依頼書には、Web入稿用ページのURLと、教員毎の個人ログインID・パスワード、入稿手順を記載している。 また、シラバス各項目（成績評価基準、教科書、参考文献、授業方法、授業概要、授業計画、備考・注意事項）の文字数上限や注意点を記載し、漏れの無いよう徹底している。 Web入稿が難しい教員には、手書きの様式を配付し、教学課事務職員によってWeb入力を行っている。 授業出席を重要としており、教員には規程の授業回数(15回)を必ず実施して頂くよう徹底している。 各教員には、シラバスに成績を評価するための手段（定期試験、レポート、課題等の区別）とその割合を%で表示し、成績評価の配分の合計が100%となるよう明記して頂いている。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>卒業要件として、学生は2年以上の在学と62単位以上の修得を必要としている。</p> <p>【2021年度入学生】</p> <p>仏教学科仏教学専攻、仏教保育専攻とも専門基礎科目6単位（必修）、専門教育科目（選択）より14単位以上及び基礎科目（選択）より10単位以上を含み、総計62単位以上を2ヶ年にわたって取得した者は、短期大学士を得ることが出来る。</p>

【2022 年度入学生】

・仏教学専攻…専門基礎科目 8 単位（必修）、専門教育科目（選択）より 20 単位以上及び基礎科目（選択）より 10 単位以上を含み、総計 62 単位以上を 2 ヶ年にわたって取得した者は、短期大学士を得ることが出来る。

・仏教保育専攻…専門基礎科目 6 単位（必修）、専門教育科目（選択）より 20 単位以上及び基礎科目（選択）より 10 単位以上を含み、総計 62 単位以上を 2 ヶ年にわたって取得した者は、短期大学士を得ることが出来る。

卒業要件を満たした者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A 制度の採 用 (任意記載事 項)	履修単位の登録 上限 (任意記載事 項)
—	仏教学科	62 単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載 事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考 情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：京都西山短期大学 HP <https://seizan.ac.jp/outline/campus/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事 項）
—	仏教学科 仏教学専攻	760,000 円	200,000 円	215,000 円	
	仏教学科 仏教保育専攻	760,000 円	200,000 円	315,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

・主担任、副担任（サポート役）
学生にとって一番身近な相談役です。2 人の担任が大学生活への順応具合を確認し、春と秋には個別面談を実施。進路に関するアドバイスも行います。
(京都西山短期大学ホームページより抜粋)

・総合支援課、キャンパスソーシャルワーカー
学生からの相談事があれば、いつでも専門相談員が対応。

(京都西山短期大学ホームページより抜粋)

・学生サポート（総合支援課）

総合支援課は、修学や学生生活などを支援するライフサポートと就職や進学を支援するキャリアサポートの両面でサポートをします。教員による担任・副担任制に加えて、専従のキャンパスソーシャルワーカーが様々な悩みを受け止め、それぞれの相談内容に応じて、各担当へ引き継ぎます。

(1) ライフサポート

日々の修学に関する支援、学生生活全般、私生活でのアルバイトや奨学金等経済的支援の相談など

(2) キャリアサポート

就職支援（就職先情報の提供、面接相談・指導等）及び編入学（指定校推薦、一般編入学等）支援など

※指定校推薦とは、主に 4 年制大学の 3 年次編入のために、多くの大学が本学に対して推薦枠を与えてくれています。

【サポート体制】

・担任、副担任と共に年に 2 回の個人面談を実施し、進路に関するアドバイスをを行います。

・キャンパスソーシャルワーカーは学生生活や進路等の相談に応じ、相談内容を整理し、適切な部署へつなげていきます。学生からの相談に応じることで、不安などを軽減し、修学や進路の円滑な移行を促します。

・就職に関しては就職相談・求人情報の提供、企業説明会の紹介を行います。

・障害などにより修学上の配慮を要する学生に対し、合理的配慮の申請受付や聞き取りを行い、修学環境の改善を図ります。

【総合支援課の利用について】

○利用時間

平日 9:00 ~ 17:00

○相談内容

- ・学生生活について（履修、修学上の配慮など）
- ・ふだんの生活について（経済的不安、体調など）
- ・進路について（就職活動、編入学など）

※相談内容に応じて適切な部署へつなげます。

※総合支援課での対応が難しいと判断された場合は、別途対応を検討します。

○利用の流れ

①学生が総合支援室に来室してください。

②室員が学生相談を実施します。相談時間は 1 回あたり 20 分程度とし

ます。

(京都西山短期大学学生便覧より抜粋)

b.進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

・主担任、副担任（サポート役）
学生にとって一番身近な相談役です。2人の担任が大学生活への順応具合を確認し、春と秋には個別面談を実施。進路に関するアドバイスも行います。
(京都西山短期大学ホームページより抜粋)

・総合支援課、キャンパスソーシャルワーカー
学生からの相談事があれば、いつでも専門相談員が対応。
(京都西山短期大学ホームページより抜粋)

・経験豊富な専属のキャリアサポーターが就職支援プログラムや個別の就職相談、面接指導を行います。商工会議所や新卒応援ハローワークなど公の機関との連携、地元の企業や園への就職へ着実に導きます。(京都西山短期大学ホームページより抜粋)

・アフターせいたんプログラム（卒業後も安心！）
卒業してから2年間、就業状況を確認します。卒業後、離職してしまっても、本学にて再就職のフォローを行います。(京都西山短期大学ホームページより抜粋)

・学生サポート（総合支援課）
総合支援課は、修学や学生生活などを支援するライフサポートと就職や進学を支援するキャリアサポートの両面でサポートをします。教員による担任・副担任制に加えて、専従のキャンパスソーシャルワーカーが様々な悩みを受け止め、それぞれの相談内容に応じて、各担当へ引き継ぎます。

(1) ライフサポート

日々の修学に関する支援、学生生活全般、私生活でのアルバイトや奨学金等経済的支援の相談など

(2) キャリアサポート

就職支援（就職先情報の提供、面接相談・指導等）及び編入学（指定校推薦、一般編入学等）支援など

※指定校推薦とは、主に4年制大学の3年次編入のために、多くの大学が本学に対して推薦枠を与えてくれています。

【サポート体制】

・担任、副担任と共に年に2回の個人面談を実施し、進路に関するアドバイスを行います。

・キャンパスソーシャルワーカーは学生生活や進路等の相談に応じ、相談内容を整理し、適切な部署へつなげていきます。学生からの相談に応じるこ

とで、不安などを軽減し、修学や進路の円滑な移行を促します。

- ・就職に関しては就職相談・求人情報の提供、企業説明会の紹介を行います。

- ・障害などにより修学上の配慮を要する学生に対し、合理的配慮の申請受付や聞き取りを行い、修学環境の改善を図ります。

【総合支援課の利用について】

○利用時間

平日 9:00 ~ 17:00

○相談内容

- ・学生生活について（履修、修学上の配慮など）
- ・ふだんの生活について（経済的不安、体調など）
- ・進路について（就職活動、編入学など）

※相談内容に応じて適切な部署へつなげます。

※総合支援課での対応が難しいと判断された場合は、別途対応を検討します。

○利用の流れ

①学生が総合支援室に来室してください。

②室員が学生相談を実施します。相談時間は1回あたり20分程度とします。

（京都西山短期大学学生便覧より抜粋）

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

- ・主担任、副担任（サポート役）

学生にとって一番身近な相談役です。2人の担任が大学生活への順応具合を確認し、春と秋には個別面談を実施。進路に関するアドバイスも行います。

（京都西山短期大学ホームページより抜粋）

- ・総合支援課、キャンパスソーシャルワーカー

学生からの相談事があれば、いつでも専門相談員が対応。

（京都西山短期大学ホームページより抜粋）

- ・学生サポート（総合支援課）

総合支援課は、修学や学生生活などを支援するライフサポートと就職や進学を支援するキャリアサポートの両面でサポートをします。教員による担任・副担任制に加えて、専従のキャンパスソーシャルワーカーが様々な悩みを受け止め、それぞれの相談内容に応じて、各担当へ引き継ぎます。

（1）ライフサポート

日々の修学に関する支援、学生生活全般、私生活でのアルバイトや奨学金等経済的支援の相談など

（2）キャリアサポート

就職支援（就職先情報の提供、面接相談・指導等）及び編入学（指定校推薦、一般編入学等）支援など

※指定校推薦とは、主に 4 年制大学の 3 年次編入のために、多くの大学が本学に対して推薦枠を与えてくれています。

【サポート体制】

・担任、副担任と共に年に 2 回の個人面談を実施し、進路に関するアドバイスをを行います。

・キャンパスソーシャルワーカーは学生生活や進路等の相談に応じ、相談内容を整理し、適切な部署へつなげていきます。学生からの相談に応じることで、不安などを軽減し、修学や進路の円滑な移行を促します。

・就職に関しては就職相談・求人情報の提供、企業説明会の紹介を行います。

・障害などにより修学上の配慮を要する学生に対し、合理的配慮の申請受付や聞き取りを行い、修学環境の改善を図ります。

【総合支援課の利用について】

○利用時間

平日 9:00 ~ 17:00

○相談内容

- ・学生生活について（履修、修学上の配慮など）
- ・ふだんの生活について（経済的不安、体調など）
- ・進路について（就職活動、編入学など）

※相談内容に応じて適切な部署へつなげます。

※総合支援課での対応が難しいと判断された場合は、別途対応を検討します。

○利用の流れ

①学生が総合支援室に来室してください。

②室員が学生相談を実施します。相談時間は 1 回あたり 20 分程度とします。

（京都西山短期大学学生便覧より抜粋）

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：京都西山短期大学 HP <https://seizan.ac.jp/campuslife/support/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	京都西山短期大学
設置者名	学校法人京都西山学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		20人	22人	22人
内 訳	第Ⅰ区分	15人	18人	
	第Ⅱ区分	4人	1人	
	第Ⅲ区分	1人	3人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				22人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下）	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	人	0人	0人

G P A等が下位 4 分の 1	人	0 人	0 人
出席率が 8 割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0 人	0 人
計	人	0 人	0 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。